

令和3年度 日本大学地理学会 秋季学術大会・例会 開催要項・プログラム

(日本大学文理学部学術研究発表会地理学部会)

【共催・後援】日本大学地理学科同窓会

期 日：令和3年11月27日(土)

場 所：オンライン (Zoom ミーティング：メインルーム、ブレイクアウトルーム)

会場・日程：

- ▶ 秋 季 学 術 大 会 (共催：日本大学地理学科同窓会)
 - 一般発表 ・第1会場 (101~118) ————— 9:00~12:00/13:00~16:00
 - ・第2会場 (201~218) ————— 9:00~12:00/13:00~16:00
- ▶ 例会 (シンポジウム)「地理総合 における GIS 学習と課題」 (後援：日本大学地理学科同窓会)
 - ・メインルーム ————— 17:00~19:00

Zoom ミーティング情報

参加を希望される会員は、学会事務局 (chiri@chs.nihon-u.ac.jp) 宛てに、お申し込みください。

ミーティング情報 (URL, ID, PASS) をお知らせいたします。 (申込締切：11月26日 正午)

注意事項：

《参加者 (発表者含む) へ》

- ① Zoom を用いたオンライン発表になります。発表者および発言者はマイク機能がついた PC をご用意ください。なお、Zoom の操作 (ミュートの ON・OFF, 画面共有) 方法などは、各自事前にお調べください。
- ② 大会当日は、上記に記載の URL からアクセスするか、Zoom アプリに ID 等を入力し、オンライン入室 (参加) してください。
- ③ ブレイクアウトルームで大会会場を設定します。なお、Zoom アプリのバージョンが5.3.0より古い場合は、ブレイクアウトルーム利用が制限されるため、アップデートが必要です。

【Zoom アプリのバージョン確認・アップデート方法】

Zoom アプリを起動⇒右上のユーザーアイコンをクリック⇒「アップデートを確認」をクリック ※「更新が利用可能」と表示された場合は更新してください。

- ④ ミーティングに参加する際は、必ず氏名 (所属) を入力してください。
- ⑤ 発表中は、発表者以外はマイクをミュートにしてください。
- ⑥ 発表内容について質問される方は、座長の指示にしたがってください。

《発表者へ》

- ①時間は、発表15分・質疑応答4分 (1鈴：12分, 2鈴：15分, 終鈴：19分) です。

なお、学生および大学院生の発表については、学会賞 (学術大会奨励賞)・同窓会特別賞の審査対象となります。

受賞者は、16:30以降に、メインルームで発表します。

秋季学術大会 ◆一般発表◆

【第1会場：101~118】 9：00～12：00／13：00～16：00

- 9:00 101 飯尾賢人・大島功平・鈴木和馬・山田千紘・福本悠作（学部2年）：古河市の工業の近年の推移について
- 9:20 102 田中 伶・渡邊結登・栗城大雅・飯尾賢人・大島功平・鈴木和馬・山田千紘・福本悠作（学部2年）：古河市中心部における土地利用の実態とその課題
- 9:40 103 大庭東真・関口浩人・石田慶吾・伊吹 健（学部2年）：旧古河城の城下町における土地利用の現況とその傾向
- 10:00 104 森 愛乃・本田修也・野口遼太（経済学部3年）：白井市における駅前商店街問題の現状とその課題
- 10:20 105 宮川康佑（学部4年）：栃木県宇都宮市における生活関連施設の立地と近接性
- 10:40 106 宮川貴久（院・前期）：福岡市箱崎・馬出地区における土地利用の変化
- 11:00 107 シャヒン（院・前期）：渋谷駅周辺における歩行者交通量と土地利用との関係について
- 11:20 108 遠藤有悟（院・前期）：公共交通空白地域の分布と流動人口データを用いた行動傾向の分類—東京都世田谷区・中野区・杉並区・練馬区を対象に—
- 11:40 109 佐々木琢登（院・前期）：静岡県遠江国における戦国期の城の立地特性について
- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 休憩 12:00～13:00 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 13:00 110 大石治憲（院・前期）：横浜みなとみらい21地区における開発の変遷とその要因
- 13:20 111 山内大誠・齋藤菜々海（経済学部2年）・古賀愛理（経済学部3年）：埼玉県三芳町における「川越いも」を通じた農商工連携の実態と課題
- 13:40 112 東海林由光・浅川 克（経済学部3年）・有坂友樹（経済学部2年）：埼玉県三芳町における交流を通じた平地林利用の取り組みの意義
- 14:00 113 池田龍弘・斉藤 蒼・住吉透八・若藤萌々（経済学部2年）：山梨県丹波山村における人口動態の特徴と外部人材による地域づくりの展開
- 14:20 114 木下陽介（経済学部3年）・谷泉礼珠・中野朱梨（経済学部2年）：山梨県丹波山村における山村留学の実態とその地域的意義
- 14:40 115 池淵祥平・松本 力・志賀春香（経済学部3年）：山梨県丹波山村における獣害被害の現状とジビエ特産品開発の意義
- 15:00 116 北島亜々斗（経済学部4年）：東京都の公立小学校における廃校施設の発生状況と利活用の実態
- 15:20 117 井内麻友美（院・後期）：公営プラネタリウム施設のサービスからみた地域特性—入場割引制度と週間上映プログラムを取り上げて—
- 15:40 118 青木邦勲（玉川聖学院中・高）：授業について考える

秋季学術大会 ◆一般発表◆

【第2会場：201～218】9：00～12：00／13：00～16：00

- 9:00 201 小野玲花・三浦晃友・三崎稜介（経済学部3年）：千葉県白子町におけるスポーツ合宿地化とその変容
- 9:20 202 篠 航希・小川雅子・金子 開・飛田将之（経済学部3年）・栗原和沙・児玉大河・鈴木健太郎・滝口留輝・山柁大輝（経済学部2年）：山形県天童市高掬集落における歴史的景観の保全の取り組み
- 9:40 203 藤井瑛人・休徳太誠・宮原 郁（経済学部3年）・大浦 凜・大下剛矢・酒井風香・瀧本拓輝・山本峰広（経済学部2年）：山形県天童市における将棋駒生産の現状と課題
- 10:00 204 二口未菜（学部4年）：富山県高岡市における銅器産業の特徴
- 10:20 205 笠原茂樹（院・前期）：美濃焼産地における産地間競争激化への対応形態の特徴—経営規模別の分析を中心として—
- 10:40 206 鶴長容治（院・前期）：アラビア半島における降水の季節変化
- 11:00 207 成田脩造・高橋奈々美・狩谷圭亮・秋山達也（学部2年）：古河市における水害と避難所の立地
- 11:20 208 夏 和也（学部4年）：2016年熊本地震による益城町寺迫・宮園・木山地区における家屋の被害状況と活断層の関係
- 11:40 209 宇佐見星弥（院・前期）：中央ネパールの低ヒマラヤから高ヒマラヤにおける干渉 SAR 時系列解析を用いた地すべり性地表変動の観測
- 休憩 12:00～13:00
- 13:00 210 鬼崎 華（院・前期）：千葉県における縄文時代遺跡の立地とシカ類化石の産出状況
- 13:20 211 江藤 直（院・前期）：鹿児島県悪石島におけるリュウキュウチク群落の分布
- 13:40 212 沼宮内玲・井上啓太（学部2年）：茨城県古河市における農業的土地利用の変化
- 14:00 213 道山美優・関根まりあ（経済学部2年）：福島県三春町における田園生活空間づくりの実態と観光農園事業の展開
- 14:20 214 上村さくら・栗本夏葵・成井柊真・横井舜平（経済学部3年）・石戸大雅・犬湯康介・原 直輝・山下星也・山田佳祐（経済学部2年）：山形県天童市における多品目果樹生産の土地利用と農業経営の実態
- 14:40 215 佐々木恵太郎・栗田大翔・丹藤美玲（経済学部3年）：埼玉県三芳町における落ち葉堆肥農法の展開とその持続的基盤
- 15:00 216 福岡瑞紀（経済学部4年）：福井県鯖江市の吉川ナスにみる伝統野菜の生産実態と課題
- 15:20 217 山田大翔（経済学部4年）：埼玉県武蔵野地域における日本農業遺産の認定と地域農業への影響
- 15:40 218 三井優紀：アジアにおけるアラビカ種コーヒー栽培—ベトナム中部の事例とアジア諸国の比較—

学部・・・文理学部地理学科

院・・・理工学研究科地理学専攻

発表要旨集は、日本大学地理学会 Web サイト (<http://geo.chs.nihon-u.ac.jp/gakkai/>) 上で公開されます。要旨集が必要な方は、Web サイトからダウンロードしてください。

例会（シンポジウム）◆地理総合における GIS 学習と課題◆
【メインルーム】17:00~19:00

【趣旨】

令和4（2022）年度から高等学校地理歴史科で新科目「地理総合」が必修科目として始まる。この「地理総合」の主な特徴は、①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察すること、②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察すること、③地図や地理情報システム（Geographic Information System 以下、GIS と略す）などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得すること、高等学校学習指導要領解説地理歴史編に示されており、GIS を用いた地理的技能の習得が「地理総合」の大きな特徴の一つになっている。

この GIS について、高等学校学習指導要領には、「地図や GIS の役割や有用性について理解すること」や、「地図や GIS を用いて、地理情報を収集し、読み取り、まとめる基本的・基本的な技能を身に付けること」などと学習内容が示されている。

しかし、紙の地図とデジタルの地図を併用しながら GIS の有用性に気付かせる具体的な学習や、GIS を用いた学習の基本的・基本的な技能については、実践報告はあるものの、その学習内容が体系的に明らかになっているわけではない。また、GIS の学習に相応しいデバイスや、地理院地図、Google Earth などをはじめとするアプリケーションなど、それぞれの学習場面に適したツールの選択についても同様の状況と言えよう。加えて、実践を行う上で各校のデジタル環境の整備が必要であるが、その整備状況も一様ではない。

以上から、令和4年度から始まる新科目「地理総合」の GIS 学習の現状を踏まえ、「地理総合における GIS 学習と課題」をテーマにして例会を設定した。本例会の発表や討論を通して、「地理総合」における GIS 学習の一端が明らかになり、令和4年度からの各高等学校での実践のヒントになれば幸いである。

なお、限られた時間を有効に使うために、主催者としては、「地理情報を収集し、読み取り、まとめる技能」のうち、「読み取る技能」と「まとめる技能」に討論の焦点を当て、その基本的・基本的な技能の内容、想定される学習プラン、中・高等学校の連携などを論点に意見交換を進める。

- 17:00~17:15 小林正人（東京都教育庁）：例会趣旨説明
- 17:15~17:30 荒木達也（都内私立中・高等学校）：私立中高における GIS 学習の課題
- 17:30~17:45 新井貴之（神奈川県立厚木清南高等学校）：県立高における GIS 学習とその課題
- 17:45~18:45 意見交換
- 18:45~19:00 卜部勝彦（日本大学経済学部）：コメントと意見交換の総括